

ロサンゼルス市西側の太平洋沿岸に位置したリゾート的なゆとりある地域であり、建物の方も特徴のある建物が数多く点在していた。路面電車の線路があった細長い敷地にスタジオや集合住宅が建てられた“エレクトリックアートブロック”は外壁色ベースを白とし、建物ファサードの中心をパステルカラーで大胆に塗装された建物や、ステン色でさまざまな形態が組合わさったスタジオ棟など独特のデザインが新たな風景を生み出していた。さらにいくつかのフランク・O・ゲーリーの初期のおとなし目の作品からいかにもゲーリーといったインパクトのある何でもありといった感じの建物まで見てまわった。街全体を通して言える事だが、大胆な色や素材を使っているがその使い方がバランスよく組み合っているのも、それほど違和感のない町並みになっていると感じられたのではないだろうか。(ゲーリーのシャイアット・デイ・モージョーは別だが。)

